

## 日本最大級の住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会」 住宅の耐震化、木のある暮らし、省エネ住宅の最新事情を一挙に発信

8月29日(土)、30日(日) インテックス大阪にて開催！！

**入場無料**

8月29日(土)、30日(日)の2日間、住宅づくりに関連する企業や自治体が一堂に会し、耐震性や省エネ性、健康性に優れた家づくり、住まいや暮らしへの木の生かし方などを提案する住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会」を開催いたします。



2014年の大阪開催は15,474名がご来場

### ◆ 阪神・淡路大震災から20年 懸念される南海トラフ巨大地震 ◆

今年1月17日で発生から20年を迎えた阪神・淡路大震災は、強い揺れにより全壊家屋10万4,906棟、半壊家屋14万4,274棟、死者6,434人という甚大な被害をもたらしました。神戸市内の犠牲者の死因としては、83.3%が建物の倒壊による窒息死や圧死、損壊死で、また12.2%を占める焼死も住宅の倒壊による火災延焼や避難の遅れが原因とされていることから、住宅関連の犠牲者は95%にも達すると見られています。

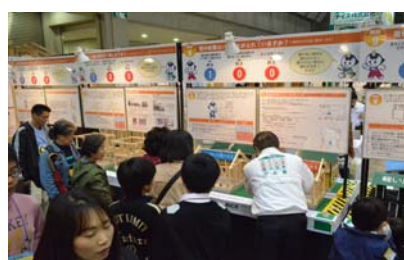
近い将来で発生が危惧されている南海トラフ巨大地震について、大阪府「南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会」は大阪府域の被害について、最悪の場合、死者数は13万3,800人、全壊棟数は17万9,000棟にのぼるとしています(2013年10月発表)。大阪府では、2015年度から2024年度までの10年間を取り組み期間とする「新・大阪府地震防災アクションプラン」を策定し、そのなかで民間住宅・建築物の耐震化の促進や府民の防災意識の啓発などをはじめとする100のアクションを掲げて人的被害や経済被害の大幅な軽減を目指しています。こうしたなか、ナイス(株)では、住宅の耐震化の重要性を訴えるイベントを開催します。

### ①耐震ゾーン (住宅の耐震化の方法を分かりやすく学ぶ場)

「耐震提案エリア」では、1981年以前の「旧耐震基準」で建てられた住宅、1981～2000年の「新耐震基準」で建てられた住宅、2000年以降の「現行の新耐震基準」で建てられた住宅に関して、動く耐震模型を用いて揺れ方の違いを知っていただき、耐震診断や耐震改修の重要性を解説します。

また、耐震診断や耐震改修について、建物の築年数や形状、状態などに応じた必要な手段や方法について「NPO法人住まいの構造改革推進協会」の会員が無償でご相談に応じます。

耐震改修に必要な補強部材については、窓やドアを生かしながら住まいを補強できる新製品「フレームプラス」をはじめとする10種類の耐震補強材を展示します。このほか、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県などの地方公共団体がそれぞれのエリアにおける耐震診断・耐震改修に関する情報を発信します。



専門家が耐震模型を使って丁寧に解説



開口部を生かして補強ができる「フレームプラス」

### ②防災体験コーナー (子供も大人も楽しく学べる防災体験プログラム)

「親子で学ぶ防災体験ゾーン」では、「NPO法人ママの働き方応援隊」が防災・減災に関する知恵や応急処置などのレクチャーをするほか、いざというときに役立つポケットサイズの防災マニュアルを配布します。また、地震体験車により再現した地震の揺れを体験することができます。さらに地域に密着したホームセンターのDCMダイキ(株)様が、非常時に便利なマジックライスやサバイバルパンなど非常食の試食および販売を行います。



地震体験車による地震の揺れを体感

# NEWS RELEASE

**ナイス株式会社**

## ④木材ゾーン（地域の木材を利用した家づくりを促進）

「木材ゾーン」では、利用促進の機運が高まる木材に関する展示や木造住宅の実物大躯体を展示します。京都府、徳島県、愛媛県といった地方自治体が出展し、良質な地域材や積極的な木材利用の取り組み、地域材を活用した魅力的な住宅などの紹介を行うほか、ナイス㈱の社有林「京都北山の森」をイメージした空間展示を行います。

また、国土交通省による今年の注目施策「地域型住宅グリーン化事業」へ対応したゼロ・エネルギー住宅の仕様を紹介するほか、住宅用流通材を使用し、十分な強度を持つ大空間の構造設計を可能とするトラス梁を用いた中規模木造建築物の構造躯体を展示します。

このほか、木の積み木やおもちゃを使い幼児の心身の発育に良いとされる「木育」を体験することができるコーナーや木工コーナーなども設けます。



京都北山の森をイメージした空間展示



「木育」を体験できるコーナー

## ④最新の省エネな家づくりや各種性能リフォームをご紹介

建物の高い断熱性や住宅設備機器の省エネ性により、家庭で排出するCO<sub>2</sub>を抑制する「低炭素住宅」や、年間での一次エネルギー消費量が正味でゼロまたはおおむねゼロとなる「ゼロ・エネルギー住宅」についてもそれぞれコーナーを設けます。断熱材やサッシ、各種節水機器や高効率給湯器など、低炭素住宅をつくるために必要な住宅設備機器や、太陽光パネルおよび蓄電池、HEMSといったゼロ・エネルギー住宅をつくるために必要な省エネ、創エネ、蓄エネ機器を紹介します。

リフォームコーナーでは、断熱リフォームやバリアフリーリフォームのポイントや効果についても紹介します。「うちエコ診断士」による無料診断を実施し、自宅の光熱費や住宅設備機器の仕様から排出されるCO<sub>2</sub>量を算出し、住まい方や住宅設備機器の交換、リフォームによる光熱費の削減方法に関するアドバイスが受けられます。

## ⑤注目セミナー

	時間	タイトル	講師
8月29日(土)	10:00 ～10:30	光熱費・ガソリン代節約のすすめ！ ～うちエコ診断でエコなくらし～	全国うちエコ診断実施機関 NPO法人 住まいの構造改革推進協会
	13:00 ～13:30	技術士兼弁護士から見た地震被害に対する 法的責任とその対策	弁護士法人 匠総合法律事務所大阪事務所 弁護士・技術士（建設部門） 江副 哲氏
8月30日(日)	12:00 ～12:30	その時どうする！巨大地震・津波への対応	㈱ハイドロソフト技術研究所執行役員兼研究開発 センター長 大阪大学客員教授 川崎 浩司氏

### ◆開催概要◆

【日時】 2015年8月29日（土）10：00～17：00  
8月30日（日）10：00～16：00

【場所】：インテックス大阪 2号館

【入場】：無料

【主催】：ナイス株式会社 協賛：木材・建材・住宅設備機器有力メーカー

【後援】：ナイスパートナー会連合会、ナイスわくわくクラブ、素適木材倶楽部、（一財）強靱な理想の住宅を創る会、（一社）木と住まい研究協会、NPO法人 住まいの構造改革推進協会

ホームページ：http://www.nicefair.com/

### 「住まいの耐震博覧会」とは

2002年からスタートし、東京、名古屋、仙台、大阪、福岡など全国主要都市で開催しています。大阪での開催は今回で10回目となり、累計来場者数は9万人超にのぼります。全国での累計来場者数は164万人で、住宅の地震対策に関する総合展示会として国内最大級の規模となっています。

この件に関するお問い合わせ\*\*\*\*\*

ナイス株式会社広報室 宮川・有井 〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 TEL：045-501-5048